

教科等研究会（小・中学校特別支援教育Ⅰ部会）

令和４年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

子どもの姿から出発する「分かる・できる」「楽しい」授業づくり
～一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの工夫～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
6/6	43名	広安西小	8/9	広安西小	講話 学習構想案検討 実践紹介	12/2	広安西小	講話 班別協議	1/26	広安西小	授業研究会 授業者 嘉島西小学校 児玉知夏 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

今年度は、自立活動、進路指導、教科（国語科）の指導支援について、以下の内容で研修を行った。

第1回：今年度の活動。研究組織編成。町別協議。

第2回：①自立活動についての研修。

講師：熊本県立松橋東支援学校 小川俊郎 教諭

②研究授業の学習構想案の検討。 授業者：嘉島西小学校 児玉知夏 教諭

③実践の紹介。

第3回：①就労支援についての研修。

講師：熊本公共職業安定所上益城出張所 鈴木昭子 様

熊本障害者職業センター 中原亜矢 様

②情報交換、事例検討。

第4回：授業研究会。 授業者：嘉島西小学校 児玉知夏 教諭

助言者：熊本県立松橋東支援学校 小川俊郎 教諭

(2) 成果と課題

①成果

- ・3年ぶりに動画視聴の形式ではあったが、授業研究会を実施することができた。
- ・自立活動や就労について、児童生徒の実態とニーズをもとに、授業のあり方や支援方法についてのイメージを具体的にもちながら学ぶことができた。
- ・班別交流を通して、少人数で具体的な実践例を出し合うことにより、様々な支援について学び合うことができた。特に、初めて特別支援学級の担任になられた先生方の悩みを中心に聞く時間を設けたことにより、指導支援上の不安を軽減する機会となった。

②課題

- ・児童生徒の実態やニーズが様々であり、日々悩みながら指導支援にあたっている会員の方々にとってより良い学びの場となるよう、様々なテーマで研修を実施していくことが必要である。
- ・本部会はなるべく多くの会員が参加できるよう、特別支援教育ⅡⅢ部会と研修期日をずらしたが、授業代替の調整が難しく参加ができない会員が複数名いた。

4 実践事例

(1) 授業研究会の概要

第2回研修会で学習構想案を検討し、その後2度の事前研究会を経て、本時の授業を実施した。本部会会員の中で学習構想案を作成したことのある者は少数であり、学習構想案をどのように作成すればよいかを学ぶことができた。また、本単元は授業者が絵本を教材化しており、他単元や自立活動との関連についても説明した上での授業動画視聴となった。

動画を視聴しながら授業者が「もっと視覚的な支援を行うことが必要だった。」等の自評を述べた。本部会の研究テーマを視点として、班別協議を行い、いくつかの班が協議した内容を発表した。最後に、助言者の小川先生から、支援学校で活用されている国語科の指導内容の一覧等を提供していただき、指導内容及び指導方法、評価等について学んだ。

(2) 学習構想案

ひまわり学級 国語科 学習構想案

日 時 令和4年11月29日(火) 第4校時
 場 所 嘉島町立嘉島西小学校 ひまわり4組教室
 指導者 教諭 児玉 知夏

1 単元構想

単元名	『はなを くんくん』(絵本)		
単元の目標	(1) 四季やその変化について知り、それらの情報を活用して場面の季節や流れを理解することができる。 (2) 場面ごとに動物たちの気持ちを考え、季節が移り変わるにつれた動物たちの心情の変化に気付くことができる。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①タブレットや本で調べて季節の変化やその順番を知り、場面理解につなげている。 ②話に出てくる言葉の表す意味と行動を結び付けている。	①「いつ」や「どこで」、「何が」の質問に対して何を聞かれているのか判断し、適切に答えている。 ②動物たちの気持ちを思い浮かべ、言葉や身振り、表情等で表現している。	①自分から手を挙げて発表したり、教師の範読を聞いて挿絵から分かることをつぶやいたりして自分の考えや思いを表現している。
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
(1) 季節の変化やその流れを知り、場面理解をする児童。問いに対し、適切に答えることができる児童。 (2) 読み聞かせを聞いて、動物たちの気持ちを思い浮かべながら物語を味わう児童。			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
(1) このお話の季節はいつからいつへ変わっていくのか。 (2) 動物たちの気持ちを考えよう。		(1) 「いつ」と聞かれたら時のことを答える等、質問に対して適切な答え方を考え、相手に伝えること。 (2) 各場面での動物たちの気持ちを思い浮かべ、表現して相手に考えを伝え合うこと。	
指導計画と評価計画(7時間取扱い 本時5/7)			
過程	時間	学習活動(「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	○タブレットや本を使い、季節の流れや変化について調べる。 「春の次は何か。(夏の次は…と続く)」 「冬の動物たちは何で寝ているのかな。」(冬眠についておさえ、二の学習内容につなげる。)	[知①]タブレットや本で四季の変化について調べている。(ノート) [態①]調べてわかったことを教師や友だちに伝えて共有している。(発言)
二	3本時(3/3)	○読み聞かせを聞き、挿絵を見ながら問いに答える。 「動物たちは何をしているのか。」 「何の動物がいるか。」 「鼻をくんくんさせて、何のおいをかいだのだろう。」 「そのときの動物たちはどんな気持ちだろう。」等	[知②]話に出てくる言葉に合った動作をしている。(動作) ★[思①]「いつ」「どこで」「何が」という質問に対して適切に答えている。(発言) ★[思②]ロールプレイを通して場面に応じた行動をとりながら動物たちの気持ちを思い浮かべ、言葉や身振り、表情等を自分なりの方法で伝えている。(発言、動作、表情等) [態①]話に出てくる動物、景色、表情等に気付き、発表したりつぶやいたりしている。(発言)
三	2	○挿絵を出来事の順番に並び替えて時系列をおさえる。 ○挿絵や今まで調べてきたことから、この話の季節の流れを確認する。 「季節はいつからいつへ変わっていくのか。」 ○今まで学習した内容を振り返りながら再度読み聞かせを聞く。感想を発表する。	[知①]タブレットや本で調べたことをもとに、この話では季節がいつからいつへ変化していくのかに気付いている。(発言) ★[思①]「いつ」「どこで」「何が」という質問に対して適切に答えている。(発言) ★[思②]動物たちの気持ちを思い浮かべながら自分が印象に残った場面を選んでいく。(発言) ★[態①]読み聞かせを聞いた感想を教師や友だちに伝えている。(発言)

2 単元における系統及び児童の実態(省略)

3 研究の視点

研究主題	
知的部会研究テーマ 子どもの姿から出発する『分かる・できる』『楽しい』授業づくり ～一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの工夫～	
研究の視点	
児童が安心して学習に取り組み、「分かる・できる」「楽しい」と思える教材・教具の工夫	
①児童が見通しを持って授業に参加できるよう、黒板に活動の流れを書いておく。	
②読み聞かせを繰り返し行い、児童が話の大まかな内容を覚えている状態になることで、次の展開を想起したりそのときの気持ちを考えたりしやすくさせる。	
③児童が自分と動物たちを重ねることで気持ちを思い浮かべることができるように、ロールプレイを行い、実際に各場面を疑似体験させる。	
④ノートに板書を写す際には、児童の実態に応じてなぞり書きや写し書きの対応をとることで、児童が自信をもってノートに文字を書くことができるようにする。	

4 本時の学習(5/7)

(1) 目標

ロールプレイを通して、各場面の動物たちの気持ちを思い浮かべることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	15分	<p>1 これまでの学習の振り返りをする ・本時の流れの確認をする。</p> <p>2 『はなをくんくん』の読み聞かせを聞く ①教師の読み聞かせを聞く。 ◇動物が寝ている。 ◇はなをくんくん。(繰り返しの言葉を一緒に言う。) ◇黄色い花が咲いた。</p> <p>②「はなをくんくん」を実際にして、なんのにおいがしたのか考える。 ◇においをかぐ。 ◇おはなのにおい ◇なんのにおいがしたのだろう。</p>	<p>(課題解決に向けた見通しを持つ手立て)</p> <p>○本時の流れを黒板に書いて矢印で現在の課題を示すことで、今していることや残りの課題が見えるようにする。</p> <p>○読み聞かせを行いながら挿絵を貼ることで、本時で何について考えればよいか視覚的に分かるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【学習課題】 ロールプレイを通して、登場人物の気持ちを思い浮かべる。</p> </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>【めあて】 はなを くんくんしている どうぶつの きもちを かんがえよう。</p> </div>			
展開	20分	<p>③各場面の動物たちの気持ちを考える。 ・起きてにおいをかぐ場面 ◇なんのにおい? ◇いいにおい ・駆け出してにおいをかぐ場面 ◇あっちに行こう ◇なにがあるのかな ・笑っておどる場面 ◇たのしい ◇わくわく ◇ニコニコ ・花を見つけた場面 ◇お花だ ◇きれい</p>	<p>(課題解決に粘り強く取り組もうとするための手立て等)</p> <p>○自分と動物たちを重ねて考え、気持ちを思い浮かべることができるように、ロールプレイをさせる。</p> <p>(個に応じた支援)</p> <p>○笑顔の表情と「たのしい、わくわく」と書いたカードと悲しい表情と「かなしい、しくしく」と書いたカードを用意しておき、気持ちの言葉が出ない場合にはそれらを使ってプラスな感情とマイナスな感情のどちらかを児童が選べるようにする。</p> <p>○笑顔の表情の大きさが異なるカードを用意し、楽しい気持ちがだんだんと大きくなることを視覚的に理解できるようにする。</p>

終 末	10 分	<p>3 学習のまとめをする ◇たのしいきもち ◇わくわく</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【まとめ】 たのしくて、わくわくしたきもち。</p> </div>	<p>(個に応じた支援) ○実態に応じ、ノートに書く際は児童の発言をりんかさんはなぞり書きで、ゆいさんは黒板に見本を提示して写し書きができるよう、教師が板書をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体の評価規準】観点 ○ロールプレイを通して場面に応じた行動をとりながら動物たちの気持ちを思い浮かべ、言葉や身振り、表情等を自分なりの方法で伝えている。(方法：発言、動作、表情等)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 動物たちになりきり、動きを再現しながら季節が春に移り変わっていくときの動物たちの前向きな感情に気付く姿。</p> </div>
--------	---------	--	--

【板書計画】

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>まとめ たのしくて、わくわくしたきもち。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>花をみつけた挿絵</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなだ。 ・きれい 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>わらっておどる挿絵</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・たのしい ・わくわく 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>駆け出す挿絵</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あっちにいこう ・なにがあるのかな？ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> <p>においをかぐ挿絵</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・なんのにおい？ ・いいにおい 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>めあて</p> <p>はなをくんくんしているどうぶつのかきもちをかえよう。</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>1 はなを くんくん</p> <p>2 ゆっくりたいむ</p> </div>
---	--	---	--	--	---

【ICT活用計画】

<p>例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等</p>
<p>○調べ学習（一次）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に一人一台支給されているタブレットにおいて「YAHOO!きっず」で調べる。 ゆいさん：調べたい言葉を教師と一緒に考え、画面にあるソフトキーボードで、自分で入力して検索する。 りんかさん：調べたい言葉を教師と一緒に考え、画面にあるソフトキーボードで教師と一緒に入力して検索する。